

加古川の防災を考える大学生・高校生募集

若者防災プロジェクト～未来へつなぐ、「伝える」を創る。～

主催	加古川市
日時	令和8年2月から8月（予定）
場所	加古川市防災センター（防災会議）ほか
内容	<p>若者防災プロジェクト ～未来へつなぐ、「伝える」を創る。～ を実施します。</p> <p>災害リスクが多様化・高度化するなか、身を守るために情報を正しく理解し、適切に判断・行動できる力が必要です。</p> <p>一方で、災害情報には、専門用語の多さや内容の理解しづらさなどの課題があります。</p> <p>本事業では、こうした課題に対して、若者が同世代（大学生・高校生）や小中学生に対して、「どのようにすれば伝わるのか」を検討することで、効果的なリスクコミュニケーションの実現を図ることを目的とする。</p> <p>（初めて・恒例・2回目）</p> <p>※本プロジェクトは令和7年に引き続き2回目になりますが、 テーマ・対象等は前年度から変更しています。</p>
対象（参加者）	大学・高校生世代の方
定員	約20名
参加費	無料
申込先・方法	<p>＜オンライン申請＞ かこがわオンライン申請システム</p> <p>＜申込期限＞ 令和8年2月20日（金曜日）まで</p> 
目的・背景 その他	防災啓発について、若者が同世代や小中学生に対して「伝える方法」を考え、効果的なリスクコミュニケーションの実現を図る。
市ホームページ	掲載済み・ 掲載予定（2月1日） ・掲載しない
広報かこがわ	2月号に掲載 ・●月号に掲載予定・掲載しない

問合先

加古川市 防災対策課 地域防災係（担当：窪田）
079-427-9717（内線2452）



加古川市 若者防災プロジェクト

未来へつなぐ、「伝える」を創る。

若者の視点で、防災情報をもっとわかりやすく。
自ら学び、考え、発信する参加型プロジェクト。

加古川市 防災対策課

1. 事業の趣旨

【課題】

災害リスクの多様化に伴い、専門用語や情報伝達の難しさが「自分事化」を阻んでいる。

「若者」が解決の力ギ！

- 「わかりやすさ」の追求
若者が主体的に「どうすれば伝わるか」を考えます。
- 成長のサイクル
学び、考え、表現することで「伝える力」を育みます。
- 地域への還元
成果を加古川市の防災啓発に実装します。

2. 活動プロセス

知る・学ぶ

気象台・関西電力送配電・NTTといった防災関係機関を視察・体験、講義を聞くなど、知識をインプット。

【3～4月】

考える・創る

グループワークで検討。
「同世代にどう伝える？」をテーマに、具体的な広報・啓発手法を検討、企画。

【4～7月】

発信する

防災会議で成果発表。成果は、防災教育に活用したり、市公式SNS、Youtube、防災フェスタなどの展示で活用、展開。

【8月（予定）】

3. 若者×関係機関×加古川市

本事業により、若者と多様な専門機関、そして加古川市が連携し、若者を中心とした地域全体の防災力を底上げします。
若者のアイデアを、市の公式施策として実装し、市民の安全につながる未来を目指します。